



■吹抜と一体になっているロフト。



■ケロ材で造ったオリジナルの本棚がある。



■大きなドーマーの内部は、寝室。



■ステンレスのシステムキッチンが、ケログとマッチしている。



■アーチカットの奥は、バス・トイレ・主寝室の入口。



■玄関を入ると広いタタキと、開放的な吹抜が出迎えてくれる。

**キットハウスアイテム** フリープラン

1F: 59.20㎡    2F: 47.88㎡  
延べ床面積: 107.08㎡

**ワンポイントアドバイス**

◆シルバー色の重厚なケログで、室内が重く暗くならないように、1階天井と2階の妻壁は、白い塗り壁で仕上げました。白い壁により、シルバーパインがより引き立てられ、美しいコントラストの空間が出来上がりました。



施主の佐野さんご夫婦。



## 憧れは希少なシルバーパイン 拘りの詰まった我が家を形に

■平均径 280mmのシルバーパイン・ケログハウスの住宅。2階小屋裏の居住空間を広くとるために、大きなドーマーを設置した。

60,000坪の森林に1本の木材イーストログハウスで実現

埼玉県飯能市。

首都に通勤可能ながら自然あふれるこの地に、ハンドカットの丸ログを実現させたのは、IT関連の会社を経営する佐野友也さんだ。

佐野さんの憧れははつきりしていた。「シルバーパイン」でハンドカットのログハウスを建てたい。

シルバーパインは、森の中で、立ち枯れた状態で、200年から400年経過している木を使った木材のこと。森林の中では希少で、60,000坪に1本と言われている。

長い年月、厳しい自然環境にさらされているので乾燥しきっている。そのためセトリングがほとんどない。色も変化しないので、塗装も不要だ。「実績の面でイーストログハウスさん以外の選択肢はなかったのです」

かつて、シルバーパインは通常のログハウスより5〜7倍の価格だった。イーストログハウスさんは、新規研究開拓の努力により手頃な価格で提供することを可能にしたのだ。

「最初にメールでご連絡したときから親身になって対応していただいた点も大きかったです」

丁寧に相談に乗ってもらいながらプランを作成。開放的なLDKと趣味の自転車やペットを気楽における広い玄関を重視した。

大変な部分もある。決めなければならぬことは膨大だ。照明器具、壁の仕上げ、屋根の色、設備機器、床材等々。予算内で、最大限気に入った品を検討するのは実に悩ましい。

**拘りを捨てずに**

**自分が住みたいと思う建物を**

自分たちで描いた建物が次第に形になるのは、心楽しいものだ。何もなかった空間に、間取りが出来ていく。キッチン、リビングが。「夢が現実になる」とはこのことか。

着工してから約7か月、イーストログハウスさんに連絡をとって約2年2か月ののち、憧れの夢の城は、目の前についてその姿を現した。青い空とこもりした山、その前で、まるで森の砦のよう。風合い申し分ない本物の古木の木組みの陰には、森の妖精が隠れていそう。そんなイメージも掻き立てられる。「他のログハウスにはない個性が出せたいと思います」

広く採った玄関の土間、無垢の床板。どれも、こだわりを映している。「個性的であり機能的である」ログハウスの魅力を存分に伝えている。ここにたどり着くには、考えに考えを重ねた過程があったのだろう。「時間をかけて、拘りを捨てずに自分が住みたいと思うようなログハウスを建てて下さい！愛着のある家が出来ると思います」